

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さわやか愛の家 なかい館		
○保護者評価実施期間	2025年12月16日		～ 2026年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年12月16日		～ 2025年12月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	豊富なレクリエーション	毎月の活動内容が類似することのないよう配慮し、偏りのない内容となるよう意識しながら、児童の意見や希望を聞き取り、活動内容へ反映している。	児童にアンケートや振り返りをしてもらい、継続的に活動へ反映できる仕組みづくりを行うとともに、活動内容に偏りが生じないよう定期的な見直しを行っていく。
2	保護者との連携	些細な変化にも気づけるよう意識し、保護者の方へこまめに連絡を行うよう心がけている。	日々の気づきを記録・共有し、保護者への連絡に関する判断基準を整理することで、適切かつ迅速な情報共有が行える体制作りを進めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流	夏祭りなど、保護者の方も参加可能なイベントは行っているが、1日のみの開催が多く、保護者の皆様が参加できるひっつい調整ができていない。	各イベントについては複数日程を設け、保護者の皆様に参加しやすいよう日程を調整いたします。
2	活動内容の安全面と自由度のバランス	安全確保を最優先とする中で、リスク回避の意識が強くなり、活動内容が制限されやすい。また、職員間での安全に対する認識や判断基準に差があることも、活動の幅を狭める要因となっていると考えられる。	活動のリスクを事前に整理共有し、安全に配慮しながら実施可能な方法を検討することで、活動の幅を確保していく。また、職員間で安全に関する共通認識を持てるよう、定期的な確認・共有を行っていく。
3			